

青井地区のにぎわい形成目指す 第1回青井復興まちづくり推進委員会

市では、青井地区の土地所有者や地域住民などと意見を交わし、復興まちづくりについての提言をまとめることで、令和2年7月豪雨からの早期復興を実現することを目的に、青井復興まちづくり推進協議会を立ち上げました。

同協議会の委員は、学識経験者や青井地区自治会役員、旅館組合、商工会などのメンバー10人。第1回の委員会では、会長や副会長の選任、市からの青井地区復興まちづくり計画の説明、計画に対する意見交換などが行われました。



5月30日に市役所で第1回の委員会を開催

事前の計画で万が一に備える マイタイムラインを活用した防災学習

「くまもとマイタイムライン」を使った防災教育学習が、5月27日に球磨工高で行われました。マイタイムラインは、大雨や台風などの災害時に自分自身がとる避難行動をあらかじめ計画しておくもので、出水期を迎える前に生徒たちに改めて防災意識を高めてもらうために実施。

生徒はハザードマップを見ながら、自宅周辺でどういう危険が起こるのか、どこにどう避難するのかを確認したり、持ち出し品リストを作成したりと、細かく計画を作成しました。



パソコンを使って危険箇所を調べる生徒

トルコ総領事が被災者を激励 在名古屋トルコ共和国総領事表敬訪問

在名古屋トルコ共和国領事館オズデュルク総領事が、5月26日に本市を表敬訪問しました。オズデュルク総領事は、テレビで令和2年7月豪雨のニュースを見て以来ずっと本市を気に掛けていたといい、「領事館としてできることをしたい」と思っている。24時間365日いつでも頼ってほしい」と松岡市長に伝えました。

その後、松岡市長とともに西間上町第一仮設住宅で暮らす被災者の皆さんをお見舞いし、日本語で「頑張ってください」と一人一人を励ましていました。



トルコのお土産を手渡し被災者を励ますオズデュルク総領事

自分自身の避難行動を確認 「避難行動を確認する日」の自主避難訓練

市では、令和2年7月豪雨の教訓を踏まえ、防災意識の向上を目的に、5月29日に自主避難訓練を行いました。

訓練では、大雨による球磨川の氾濫と土砂災害を想定。参加者は経路や時間などを確認しながら避難所へ向かい、開設した指定避難所では、市職員が避難者を受け付けたり、避難状況を確認したりしました。町内会独自の避難訓練を実施した町内もあり、地域みんなで避難行動を確認していました。また、新市庁舎では初めて災害対策本部の運営訓練を行いました。



避難所ではスマートフォンを使って避難者を受け付け

ふるさと納税で5億円以上の寄付をいただきました

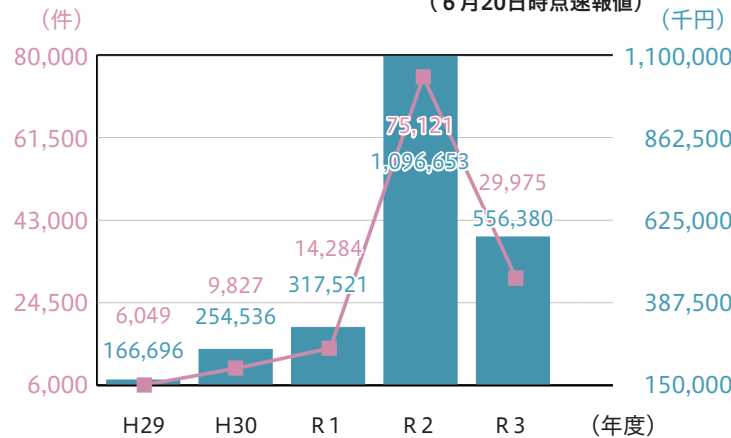
平成20年から始まったふるさと納税制度。本市ではふるさと納税をしていただいた皆さんへ、金額に応じて全国に誇る地元の特産品をお返ししています。

令和3年度は豪雨水害に対するお見舞いや「企業版ふるさと納税」も含め、1年間に5億7,797万9,968円（29,985件）の寄付を頂きました。

全国から頂いた寄付は、寄付者に選んでいただいた応援メニューに基づき、市民の皆さんへ還元しています。

■問合せ 市商工観光課商工係（☎22-2111 内線2133）

人吉市ふるさと納税（個人版）の寄付件数と寄付額
（6月20日時点速報値）



応援メニュー別の寄付件数と金額

ふるさと自然環境及び地域景観を保全・活用するための事業

8,529件 1億6,535万7,023円

将来の地域を担う子どもたちを応援する事業

6,059件 1億2,070万1千円

地域で支え合う健康・福祉のまちづくりのための事業

1,370件 2,619万2千円

歴史や文化資源を保存・活用するための事業

1,190件 2,325万6千円

観光振興の充実など活力に満ちたまちづくりのための事業

1,372件 2,731万5,500円

その他目的達成のために市長が必要と認める事業

10,688件 1億9,099万2千円

令和2年熊本・鹿児島大雨災害

767件 256万6,445円

小計 29,975件：5億5,637万9,968円

企業版ふるさと納税

10件 2,160万円

合計 29,985件：5億7,797万9,968円

令和3年度のふるさと納税の主な使い道

子ども医療費助成事業……3千万円

0歳～中学3年生の子どもの通院費・入院費の自己負担分を助成しています。



学校 ICT 環境整備事業……2,170万円

ICT（通信技術化）教育の充実を図るため、小中学校のインターネット環境の整備などを行っています。



文化財災害復旧事業……300万円

豪雨災害で被災した相良神社内にある池の泥上げ工事や青井阿蘇神社の復旧工事など、被災した文化財修復の補助をしました。



■使い道についての問合せ 市財政課財政係（☎22-2111 内線3224）

災害寄付の今後の活用方法

豪雨による被災地支援として、返礼品なしの寄付を235万2,445円（686件）頂きました。寄せられた温かい寄付は、今年度以降の復旧・復興に役立てていきます。引き続き本市にご支援いただけるよう、復旧・復興状況や寄付の使い道について全国の皆さんに情報発信していきます。